平成27年　7月14日(火)　上毛新聞

利商　逃げ切る

▽2回戦（桐生）

利根商	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4
桐生西	0	1	0	0	0	1	0	1	0	3

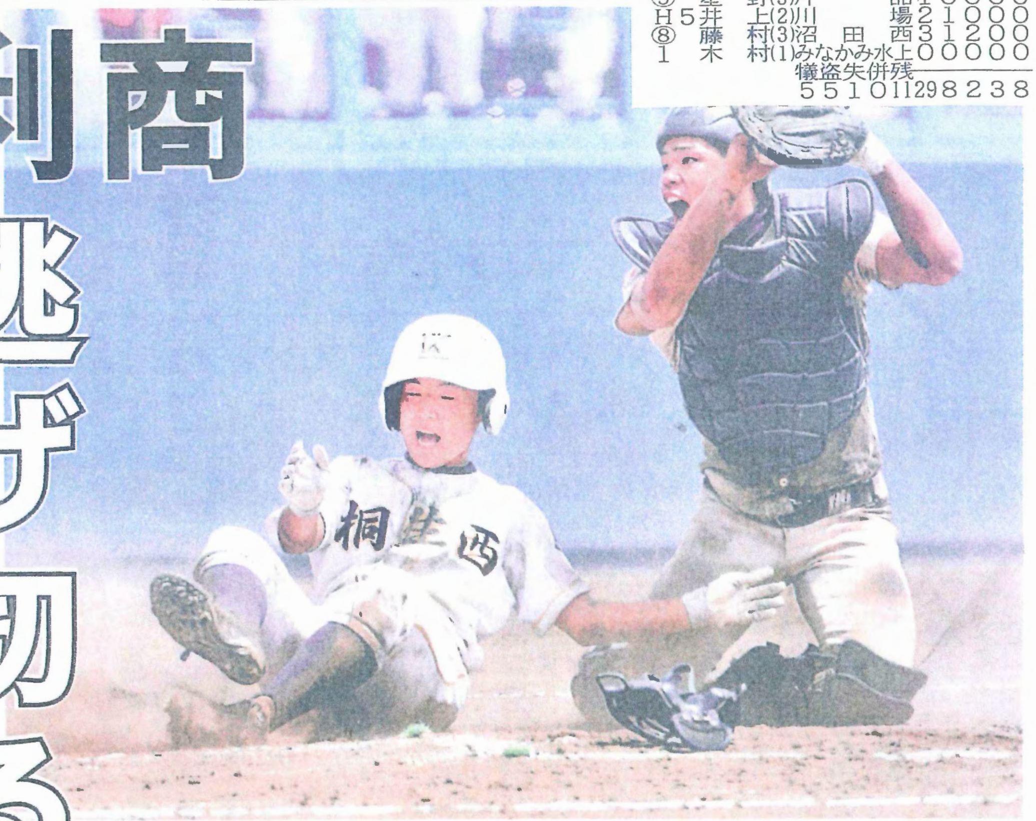
○…利根商が逆転で1点差ゲームを制した。六回に試合をひっくり返し、追加点を挙げて逃げ切った。

1点を追う六回、1死二、三塁から、藤村和樹の右前打で2点を奪い逆転。さらに四球などで2死一、三塁とすると、重盗で3点目を挙げた。先発小林昂太は3失点と粘投し、九回は木村直斗が無失点で抑えた。

桐生西は9安打を放ったが要所を抑えられた。二回に松島大輝の適時打で先制。逆転を許した後、六、八回に1点を返したが届かなかった。

利根商

			打	安	点	振	球
④		横　堀(2)前橋芳賀	3	0	0	1	1
⑥		小　寺(3)沼田西	1	0	0	0	3
⑦		沢　口(3)昭和	4	1	0	1	1
7		小林裕(3)みなかみ月夜野	0	0	0	0	0
③		深　代(3)みなかみ新治	4	2	0	0	1
②		阿　部(3)沼田東	5	1	0	1	0
⑨		宮　田(3)沼田薄根	3	1	0	0	1
①	8	小林昂(3)沼田東	3	1	0	0	1
⑤		星　野(3)片品	1	0	0	0	0
H	5	井　上(2)川場	2	1	0	0	0
⑧		藤　村(3)沼田西	3	1	2	0	0
1		木　村(1)みなかみ水上	0	0	0	0	0
		犠盗失併残 5 5 1 0 11	29	8	2	3	8



利根商―桐生西　7回裏桐西2死二塁、中田の右前打で長谷川が本塁を突くが、宮田の好返球でアウト。捕手・阿部＝桐生

藤村の逆転打　流れ呼ぶ

利根商打線は桐生西の左横手投げの主戦桜井一樹に、五回まで要所を抑えられた。浮き上がる球を打ち上げ、緩い変化球でゴロを打たされた。二回以外は毎回得点圏に走者を進めながらも得点できなかった。

「上からきちんとたたいて、転がすことを徹底しよう」。1点ビハインドの六回、攻撃前に堤悠輝監督が出した指示にナインが応えた。6番宮田拓海が内角をえぐる変化球をたたいてライナーで右前へ運び、四球と犠打で1死二、三塁。続く9番藤村の「逆方向に転がす意識だった」という右前への流し打ちは逆転の2点適時打となり、主導権を取り戻した。

先発小林昂太は八回まで8安打3失点しながらも、スローカーブを有効に使い逆転を許さなかった。小林の粘投に守備陣も奮起。右翼の宮田は七回2死二塁の場面で、右前打を本塁へ好返球して封殺すると、九回には相手の痛烈な右前への打球を右ゴロに仕留めた。反撃の芽を摘む好守に宮田は「投手を助けられたかな」と照れた。

堤監督は「劣勢の中で指示をしっかり実行してくれた。藤村の一打が大きかった。守備陣も奮闘してくれた」と手放しでナインを褒めていた。

（阿久津光正）

次の代に期待

桐生西・斉藤航輝主将の話　チームとして悔いの残る試合。次の代に期待している。一日一日を大事にしてほしい。

黄色のTシャツ　タオルで応援

利商スタンド

○…利根商の応援スタンドでは、保護者や生徒が「利根商カラー」の黄色のTシャツに身を包み、同じく黄色のタオルを一心に振っていた。タオルを振っての応援は昨年から始めた。保護者会がデザインし、「利根商高」と校名のみを入れることで野球部以外でも使える工夫をしたという。

保護者会長の小寺宏之さん㊼はカメラを手に「自分たちの好きな野球を目いっぱいやってほしい」と話した。

この日は浜野雅樹校長も応援に駆けつけた。「最近調子が上がってきているので期待している。一戦一戦を大事に頑張ってほしい」と、応援団とともに声をからしていた。